

第24回千葉元気印企業大賞

受賞企業決まる



【千葉元気印企業大賞・千葉県知事賞】

◇スズキ機工

(鈴木豊氏、千葉県松戸市松飛台316-3、TEL047-385-5311)

〈受賞理由〉 高い技術力があっても「トラブルの無い完璧な装置の設計・製作は不可能」という見解から、トラブル対応に迅速に対応するため移動時間1時間以内の顧客との取り引きにすべての経営資源を集中し、顧客満足度を向上させてきた。また、「ペルハンマー」など自社製品の開発にも注力し、売上・利益とともに拡大している。

【優秀製品・サービス賞】

◇Eプラン

(松澤民男氏、千葉県船橋市高瀬町31-6、TEL047-404-9240)

〈受賞理由〉 安全性が高く洗浄力と除菌力を優れたスーパーアルカリイオン水の生成装置を分野・用途別に開発。同水を充填した「E-WASH」は、家庭用を中心にリピーターが増加。工業用では同水を用いた金属部品洗浄装置を開発、洗剤の代替として活用されている。



度)推進部」という部署を置き、求人から職場環境の改善

・人材育成を担当。中でも人材確保では、求職者を「顧客」と見立てたマーケティング戦略により、人材の採用に成功している。

【奨励賞】

優秀製品・サービス賞部門

◇フラット

(林晃弘氏、千葉県白井市根200番地37、TEL047-492-7822)

〈受賞理由〉 白井市は子供の数に対して居場所と呼べる社会資源が乏しい一方、福祉の現場では医療ケアを行う場所が少ないなどの課題がある。こうした課題を複合型福祉施設「フラットビレッジ」の運営を通じて解決していく。



優秀技術賞部門

◇小野莫大小工業

(小野元延氏、東京都江東区亀戸1-42-20住友不動産ビル11階、県内事業所=千葉県香取市佐原イ458-1、TEL03-6821-5524)

〈受賞理由〉 独自の糸づくり技術によって化学薬品を使用することなく薄手生地で静電気を抑制できる商品を開発。2015年には香取市に工場を建設し、地域経済の振興にも貢献している。



優秀経営賞部門

◇スリースターワーク

(前原東二氏、千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟21階、TEL043-212-2511)

〈受賞理由〉 3次元デジタルデータを活用し、業務効率化やコスト削減、売れる商品づくりのための設計製造プロセス改革サービスを提供。新入社員研修では、千葉県で初めて「レゴブロック」を使った組織の課題を解決する手法を導入した。



【優秀経営賞】

◇ファソテック

(竹内淳一氏、千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟21階、TEL043-212-2511)

〈受賞理由〉 3次元デジタルデータを活用し、業務効率化やコスト削減、売れる商品づくりのための設計製造プロセス改革サービスを提供。新入社員研修では、千葉県で初めて「レゴブロック」を使った組織の課題を解決する手法を導入した。



【創業・ベンチャー賞】

◇モノテクノス

(西尾卓哉氏、千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1WBGマリブウェスト2階、TEL043-213-2200)

〈受賞理由〉 発達障害の子供向けのプログラミング教室を提供している。放課後に発達障害をもつ子供たちにIT技術を教育することで技術者に育て、生涯の仕事にできるビジネスプランを策定。就業を意識した訓練施設の機能も持たせている。



【地球環境貢献賞】

◇エスケイ工業

(古川承元氏、千葉県東金市淹沢字向原534、TEL0475-55-9266)

〈受賞理由〉 米の収穫後に大量に発生するもみ殻を炭にして、水田の土地改良材などに利用する装置を開発した。同装置を使うことで煙と臭いがなくなり、もみ殻の廃棄物削減と資源循環に貢献する。



【特別賞(地方創生賞)】

◇ケイ・ティ・サービス

(手代木正義氏、千葉県市原市姪崎東2-2-6、TEL0436-60-3236)

〈受賞理由〉 本部に「E.S.(従業員満足



千葉県の活力ある企業を表彰する「第24回千葉元気印企業大賞」の受賞企業が決まり、大賞・千葉県知事賞は産業用自動機械の設計・製作・メンテナンスを手掛けるスズキ機工が受賞した。大賞・千葉県知事賞には副賞として50万円、各部門賞には15万円、特別賞(地方創生賞)には10万円が贈られる。このほか、奨励賞を含む全受賞企業に特別協賛の千葉ロッテマリーンズから観戦チケット、協賛の鴨川シーワールドから入場券が贈呈される。各受賞企業は次のとおり。(カッコ内は代表者名、所在地、電話番号)

審査委員講評

石井慶範・千葉県商工労働部産業振興課課長

今回も、大賞のスズキ機工はじめ、優れた技術を持つ企業やユニークな取り組みで地域に貢献する企業など様々な業種から数多くの魅力的な応募があり、審査は非常に難しいものでした。受賞企業のますますの飛躍と本県経済を活性化する元気な企業が数多く育っていくことを期待しています。

板倉正典・千葉県産業振興センター理事長

今年も、千葉で元気に活動している多くの企業の姿を見ることができました。

優秀技術賞を始め、どの部門も素晴らしい内容があり、今後、大きな成長を期待させる企業が見られました。

企業の方々の新製品や新サービスへの積極的な取り組みや優れた経営は、県内産業の活性化や雇用の拡大につながるものであり、今回応募された企業の方々の今後の活躍を大いに期待します。

工藤智寛・千葉県商工会議所連合会事務局次長

各部門賞・奨励賞を獲得した製品や企業はもちろんですが、賞の獲得に至らなかった企業も素晴らしい取り組みやアイデアで製品や技術を生み出し事業を展開しています。

応募いただいた中には、全国的に人手不足やコストの高騰などが叫ばれる厳しい環境の中で、技術力を活かして製品を開発する企業やニーズを的確に捉え新たな事業展開を行う企業があり、様々な分野で元気に活動している企業を知ることができました。

このような千葉県内の元気な企業を広く知ってもらう活動を行い、更なる元気な経営者や企業を発掘し育てるため、今後も本表彰制度を継続し、千葉県内の企業に活用してもらうことで、千葉県経済を盛り上げていただきたいと感じました。

渡部茂樹・千葉県経営者協会専務理事

多くの応募企業があり、それぞれが困難と思われる課題を丁寧に克服し努力を重ねた結果実現されたものばかりであった。

特に少子化、高齢化に向けた対策や、障がいを持つ方々の生きがいを見出すもの、災害や地球環境に役立つものなど、今後ますます重要性が高まるものが多かった。今後も前向きで元気あふれる企業の更なる飛躍を期待しています。

鵜原肇・千葉県中小企業団体中央会事務局次長

今年も多くの中から応募があり、いずれも優劣をつけがたい素晴らしい企業ばかりでした。特に今年は、福祉事業関連の応募が例年より多かったように思っています。地域の企業や商店が地域福祉の新たな担い手として活動していただいていることを、とても心強く思いました。元気な企業が地域の活力を生み、活性化した地域は企業のさらなる飛躍を促します。各企業の今後ますますの元気をご期待申し上げます。

黒岩真吾・千葉大学学術研究推進機構産業連携研究推進ステーション副所長

「これは!」と思わせる応募企業には、得意分野で長年技術を洗練化し続けている企業と、新たな技術を持ってビジネスを開拓している企業があり、各々技術力やアイデアの良さが見て取れた。これらの企業には「完成された技術はない」との思いを忘れずに常により高きものを目指して欲しい。一方で言葉足らずの応募書類が多く、今後は自社の強みを「発信する技術」を磨く努力も期待したい。

渡辺昇・千葉県経営品質協議会常任理事

地元千葉県には、国内はもちろん、グローバル市場ですでに基盤を築いて活動されている企業、今後十二分に活躍が期待できる潜在力豊かな企業がたくさん存在することに改めて千葉県企業の生命力を感じた。千葉元気印大賞への申請プロセスと評価が、各社の技術力と市場の良好な関係づくりの一助としてお役に立てれば幸いである。